

## 【ユニット】 臨床推論

### 【ユニットディレクター】

UD：柴崎 智美（医学教育学）

UD 補佐：森 茂久（医学教育学） 永島 雅文（解剖学） 三輪 尚史（生理学） 向田 寿光（教養教育） 高野 和敬（解剖学） 中平 健祐（教養教育） 杉山 智江（医学教育センター） 齋藤 恵（医学教育センター） 杉浦 由佳（医学教育センター） 佐藤 寛栄（医学教育センター） 黒崎 亮（国セ 婦人科腫瘍科） 魚住 尚紀（生化学）

### 【一般的な目標】

医療の実践において問題解決の筋道を考える力である臨床推論能力の土台を築くために、事例を通して、問題解決能力に必要な推論を学習する。

### 【具体的な目標】

1. 事例の問題点を抽出・整理することができる。
2. 整理した問題点全体に矛盾なく事例全体として何が起こったかを、できるだけ多く推測することができる。
3. 説明のために不足した情報を収集することができる。
4. 収集した情報を推測した事態に関連させて説明できる。
5. 推論した事態それぞれの可能性の大きさを推論できる。
6. グループの討論によって情報を整理・統合し、結論を導き出すことができる。
7. 卒業までに修得することが求められている 37 症候を来す代表的な疾患の特徴を説明できる。
8. 他のメンバーと協働してグループワークを進めることができる。

### 【学習方法】

全体講義（TBL:Team Based Learning）およびスモールグループ学習（SGD:Small Group Discussion 1 グループ 6～7 名）を行う。演習には積極的に取り組み、自ら考え、根拠に基づき自分の意見が言えるように、適切な根拠を探すことも目指している。

グループの活動では、司会、書記を決めて、グループでともに学ぶ事ができるよう、しっかりひとの話を聴き、自分の意見を発信する。

卒業時までに修得することが求められている 37 症候について、代表的な疾患を教科書を用いて学習する。

1. 課題 1：感染症（担当：柴崎、黒崎、永島、佐藤、杉山、杉浦、齋藤、チュータの先生方）
2. 課題 2：虐待（担当：永島、柴崎、黒崎、佐藤、杉山、杉浦、齋藤、チュータの先生方）
3. 課題 3：37 症候の学習（担当：柴崎、黒崎、三輪、杉山、杉浦、齋藤）

\*スモールグループ学習にはチュータを配置し、カタロスタワー 6 階ゼミ室又は 7 階コンシリウムホール（又はオルコスホール 3 階、4 階）で行う。

質問等は、授業時間内に受け付ける。

### 【評価方法】

本ユニットは良医になることを目指して、すべての演習・授業に参加し、課題に取り組むことを求めている。そのため、医師を目指す医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合には、評価の対象とせず、不合格とする。

1. 評価は、出席、態度、提出物、小テスト、SGD のテュータを含む教員からの評価などを総合的に判断する。
2. 演習・授業を欠席した場合は、課題を受け取り自ら取り組むこと。  
演習ユニットのため、3/4以上の出席が必要で有る。欠席の理由がやむを得ないと判断される場合には、補習を行い評価の対象とする。
3. 提出物は決められた期限までに決められた方法で提出することを求める。未提出があった場合、提出不備があった場合には評価点から減点する。
4. スモールグループ学習でのテュータによる評価・提出物の評価・出席状況を総合して評価する。
5. 本ユニットが評価を担当するマイルストーン(7-(1)他のメンバーと協働してグループワークを進めることができる)については、テュータによる評価やピア評価によって評価する。不合格となった場合には補習を行い再評価する。

### 【教科書】

- ◆ 内科診断学（医学書院）第4版

### 【参考書】

- ◆ 臨床推論 EBM と病態生理から症例を考える 基礎臨床技能シリーズ4，後藤英司，メジカルビュー社
- ◆ 症候からたどる鑑別診断 ロジカルシンキング、編集：後藤英司他、メジカルビュー社
- ◆ 診察ができる vol.2 鑑別診断 第1版 医療情報科学研究所 編

### 【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
臨推1	05月15日	(金)	4	オリエンテーション	柴崎 (医学教育学) 三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 佐藤 (医学教育C) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 黒崎 (国セ婦人科腫瘍科)
臨推2	05月15日	(金)	5	オリエンテーション	柴崎 (医学教育学) 三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 佐藤 (医学教育C) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 黒崎 (国セ婦人科腫瘍科)
臨推3	05月22日	(金)	4	課題1 (感染症TBL1)	杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
臨推4	05月22日	(金)	5	課題1 (感染症SGD1)	杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
臨推5	05月29日	(金)	4	課題1 (感染症SGD2)	杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
臨推6	05月29日	(金)	5	課題1 (感染症SGD2)	テュータ (各基本学科) 柴崎 (医学教育学) 齋藤 (医学教育C) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C)
臨推7	05月29日	(金)	6	課題1 (感染症SGD2)	テュータ (各基本学科) 柴崎 (医学教育学) 齋藤 (医学教育C) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C)
臨推8	06月12日	(金)	4	課題1 (感染症SGD3)	テュータ (各基本学科) 柴崎 (医学教育学) 齋藤 (医学教育C) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C)
臨推9	06月12日	(金)	5	課題1 (感染症SGD3)	テュータ (各基本学科) 柴崎 (医学教育学) 齋藤 (医学教育C) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C)
臨推10	06月12日	(金)	6	課題1 (感染症SGD3)	柴崎 (医学教育学) 齋藤 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C)
臨推11	06月19日	(金)	4	課題1 (感染症TBL2)	柴崎 (医学教育学) 齋藤 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C)
臨推12	06月19日	(金)	5	課題1 (感染症TBL2)	柴崎 (医学教育学) 佐藤 (医学教育C) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C)
臨推13	01月12日	(火)	4	課題2 (児童虐待SGD1)	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C)
臨推14	01月12日	(火)	5	課題2 (児童虐待SGD1)	テュータ (各基本学科) 柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
臨推15	01月12日	(火)	6	課題2 (児童虐待SGD1)	テュータ(各基本学科) 柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C)
臨推16	01月14日	(木)	4	課題2 (児童虐待TBL1)	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 米岡 (教養教育) 林 (教養教育)
臨推17	01月14日	(木)	5	課題2 (児童虐待TBL1)	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 米岡 (教養教育) 林 (教養教育)
臨推18	01月19日	(火)	4	課題2 (児童虐待SGD2)	テュータ(各基本学科) 柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C)
臨推19	01月19日	(火)	5	課題2 (児童虐待SGD2)	テュータ(各基本学科) 柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C)
臨推20	01月19日	(火)	6	課題2 (児童虐待SGD2)	テュータ(各基本学科) 柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C)
臨推21	01月22日	(金)	4	課題2 (児童虐待TBL2)	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育C) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 林 (教養教育)
臨推22	01月22日	(金)	5	課題2 (児童虐待TBL2)	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育C) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 林 (教養教育)
臨推23	02月01日	(月)	1	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
臨推24	02月01日	(月)	2	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)
臨推25	02月01日	(月)	3	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)
臨推26	02月02日	(火)	4	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)
臨推27	02月02日	(火)	5	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)
臨推28	02月02日	(火)	6	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)
臨推29	02月03日	(水)	4	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
臨推30	02月03日	(水)	5	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)
臨推31	02月03日	(水)	6	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)
臨推32	02月04日	(木)	4	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)
臨推33	02月04日	(木)	5	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)
臨推34	02月04日	(木)	6	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)
臨推35	02月05日	(金)	1	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
臨推36	02月05日	(金)	2	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国セ婦人科腫瘍科)
臨推37	02月05日	(金)	3	課題3	柴崎 (医学教育学) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐藤 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 三輪 (生理学) 黒崎 (国セ婦人科腫瘍科)

### 【備考】

各課題に添付したリソースリストを参照すること。インターネットの活用も大いに推奨するが、本ユニットではAIが作成した(と疑われる)課題レポート等が提出された場合は、評価しない。

本ユニットは、文部科学省ポストコロナ事業埼玉群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業の一部に該当する。

【令和4年度モデルコアカリキュラム対応】

PR-01-01-02 社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。

PR-01-02-01 自分自身の限界を適切に認識し行動する。

PR-01-02-02 他者からのフィードバックを適切に受け入れる。

PR-02-01-01 患者を含めた他者に思いやりをもって接する。

PR-02-01-02 他者に思いやりをもって接することができない場合の原因・背景を考える。

PR-02-02-01 自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。

PR-02-02-02 他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものか考え、意識して行動する。

PR-02-03-01 医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。

PR-02-03-02 礼儀正しく振る舞う。

PR-03-01-01 人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。

PR-03-01-02 答えのない問いについて考え続ける。

PR-04-01-03 診療現場における倫理的問題について、倫理学の考え方に依拠し、分析した上で、自身の考えを述べることができる。

GE-01-01-01 臓器横断的に医学的課題を捉えることができる。

GE-01-01-03 基本的なフレームワーク(頻度・重症度・緊急度、解剖学的アプローチ、病態生理学的アプローチ、二重過程理論、事前確率等)を用いて臨床推論を行うことができる。

GE-01-01-05 診断がつかない健康問題やその介入方法の概要を理解している。

GE-01-02-02 個人・家族の双方への影響を踏まえたアプローチを理解している。

GE-01-03-02 患者の社会的背景(経済的・制度的側面等)が病いに及ぼす影響を理解している。

GE-01-04-01 根拠に基づいた医療(EBM)の5つのステップを列挙できる。

GE-03-01-01 ライフサイクル(胎児期、新生児期、乳幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期、壮年期、老年期、終末期)の視点で、患者の課題を検討できる。

GE-03-01-02 ライフステージやライフイベントの視点で、健康管理と環境・生活習慣改善を検討できる。

GE-03-01-03 家族ライフサイクル・家族成員間関係・家族システムの視点で、患者・家族間の問題(虚

待・ネグレクト等)を指摘できる。

GE-03-02-01 小児期の身体の成長と生理機能の発達について理解している。

GE-03-02-02 小児期の正常な精神運動発達について理解している。

GE-03-02-03 小児期の愛着形成や保育法・栄養法について理解している。

LL-02-01-01 後輩や同僚等と協働して学修できる。

LL-02-01-02 後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。

RE-01-01-01 常識を疑う。

RE-01-01-02 何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。

RE-03-01-01 自身の関心を問いにすることができる。

PS-01-03-18 免疫反応に関わる組織と細胞について理解している。

PS-01-03-19 補体及び自然免疫細胞が病原体により活性化し、炎症を引き起こす仕組みについて理解している。

PS-01-03-24 自然免疫系を構成する主な細胞とそれらの活性化機構 (TLR 等) を理解している。

PS-01-03-25 抗原提示細胞の種類と役割、抗原提示機構について理解している。

PS-01-03-26 ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴の概要について理解している。

PS-03-03-09 新興感染症等についてその感染経路を理解し、必要な感染対策を理解している。

PS-03-03-16 ワクチン予防可能な疾患について理解している(表1)。

CS-02-02-01 主要症候(表5)について原因と病態生理を理解している。

CS-02-02-02 主要症候(表5)について鑑別診断を検討し、診断の要点を説明できる。

IP-02-03-02 自らの価値観や言動について、多職種及び他の医療系学部の学生との関係性の中で、相対化できる。

S0-02-02-06 急性感染症に特異的な疫学的アプローチを理解している。